

2018年6月10日 主日礼拝 〈聖餐式・花の日〉

司 会 ①梅津兄 ②藤樫兄 ③岡野保兄

奏 楽

祈 禱 ①三浦兄 ②森屋崇兄 ③土屋光兄

賛 美 聖歌656番「わたしのよう」
(ほめよイエスの御名を)(栄光から栄光へと)

使徒信条

聖 書 ①② 出エジプト記15章22～26節 (P96)
③ ヨハネによる福音書14章27～31節 (P166)

音 楽 ① 坪井永城師
②③ J.Plusバンド

証 詞 ①② 丸山由伊姉(青年会)

メッセージ ①② 「心とからだの癒し・シリーズ2」 倉知契副牧師
③ 「心を騒がせるな。おじけるな。」 大川従道牧師

賛 美 「人生の海のあらしに」(472番・献金)

頌 栄 「アーメン・主にハレルヤ」 アーメン

祝 禱

「あなたは神と和らいで、平安を得るがよい。
そうすれば幸福があなたに来るでしょう。」
(ヨブ二十二の二十一)

【大和ニュース】

☆今日は「花の日」。お花を創られた主なる神様を賛美します。

・ 入門講座Ⅱ、手話、モーセ会、カレブ・エステル会(森地下)、SS主任会、J.Plus
イスラエル旅行感謝会(13:15)、J.Plusクワイア(16:00)、YYタイム(森 12:30・宮田兄)。

* 突然ですが、本日の東京カルバリーは諸々の事情により中止になりました。

・ 今週も祈禱会を大切に！①水曜夜は佐々木伝道師 ②木曜朝はカン・グレイス宣教師
(「祈りの回復」の著者) ③金曜夜は森屋伝道師

* 『トーチ・バトンタッチ大会』は、土曜午後2時。講師は岸義紘師、大川牧師他。
場所は大久保の「淀橋教会」。お祈りくださり、ご参加下さい。(入場無料)

石の枕

『サラの会』という80才以上の女性の集いは、楽しくて明るくて面白い。これからの高齢者には、「教育」「教養」が必要だという。

「教育」とは、「今日行」と書く。今日行くところがある、というのは健康で楽しく過ごすためには、不可欠なこと。私の知人のご婦人は、「先生は、毎日行くところがあって幸せですね。うちの主人は、定年後、ゴロゴロウロウロの素浪人生活」とかボヤいていました。クリスチャンが、教会に行けるということは幸せにつながる、大切なことだと知り感謝した。

もうひとつは、「教養」。「今日用」と書く。今日用がある。今日用事がある。することがある。お役に立てる。「今日用人」

この2つが人間を元気にする。私にとって、「主の用なり、お役に立ちたい」が、私の活動力のすべてである。

新聞の見出しに「老々介護から認々介護」というのがあった。片方でなくて老齢になった夫婦が共々弱っているのが現実である。

大川牧師の創作熟語「忍々介護」「謝々介護」

天然ボケも楽しい。歯科医院で、口紅をふいて下さい、と言われ、突然口笛を吹いたご老人??

「寿命というのはいい言葉だね。寿(ことほ)ぐ命と書くだから」(森繁久弥)

「下手な役者には石をぶつけてもよい」。紅テント時代の唐十郎は、そう言っ
て客に石を配って歩いたという。* 役者でなくてよかった?!

《こころの深呼吸》(片柳弘史著)

空を飛ぶ鳥や、野に駆ける動物を見て

「社会の役に立たないから、生きる価値がない」と思う人はいないでしょう。

むしろ、命の素晴らしさに感動するはずです。

社会の役に立たなくても、精いっぱいに生きているというだけで、

命は限りなく貴いのです。

☆「あなたは私の愛する子、私はあなた(の存在)を喜ぶ」(マルコ1の11)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ヨハネ18章~使徒2章 Bコース:歴代下32章~ネヘミヤ3章